

# 尾道地区 保護司会 会報

第74号

2022年1月1日  
発行

## CONTENTS

- 村上会長の挨拶 ..... 2
- 桂木保護観察官挨拶 ..... 3
- 広島県更生保護功労者顕彰式 ..... 4
- 社明運動作文・標語コンテスト ..... 5
- 社明運動広報宣伝活動 ..... 6
- 新任保護司紹介・退任保護司挨拶 ..... 7
- 保護司の記録 ..... 8
- 保護司の“わ” ..... 9
- 尾道地区更生保護団体コーナー ..... 10~12
- 文芸コーナー・囲碁入門講座 ..... 13~14
- 事務局だより・あとがき ..... 15
- 活動風景(2021年8~12月) ..... 16

第71回“社会を明るくする運動”《広島県推進委員会委員長賞》

地域の輪 つながりあふれる 笑顔の輪

広島市立長束中学校 吉田 結愛

# 新年のご挨拶

尾道地区保護司会

会長 村上 俊昭



新年明けましておめでとうございます。会員皆様におかれましては、令和4年の新春をお健やかにお迎えのことと、お慶び申し上げます。

新型コロナウイルス感染者が、国内はじめ、世界全体でも減少傾向にあるものの、南アフリカ・欧州などを中心に新変異株（オミクロン）の急拡大で、三回目の接種が各国で取り組まれるなどまだまだ厳しい状況が続いており、その一日も早い終息に向かっていきますよう願っています。

地区保護司会においても、「安全がすべてに優先する」を基に、広島保護観察所より新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を踏まえた保護司活動等に関する当面の留意事項について連絡がありました。

保護観察対象者及び生活環境調査事件の引受人等との面接については、「面接前チェックシート」を活用することによって感染予防措置を講じた上で、直接対面する面接により処遇を実施しなければなりません。

- 2週間前から今日まで、平熱を超える発熱（目安37.5度）はありません。
- 咳、のどの痛みなど風邪の症状はありません。
- だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）はありません。
- 嗅覚や味覚の異常はありません。
- 体が重く感じる、疲れやすいなどの症状はありません。
- 新型コロナウイルス感染症陽性と判断された者との接触はありません。
- 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方はいません。
- 過去14日以内に、政府から入国制限を受けた入国後の観察期間を必要とされている国・地域へ渡航したこと、又は当該国・地域からの入国者と接触したことはありません。

以上を留意して★面接時は、必ずマスクを着用し、また面接の前後には、手洗い・手指消毒を励行してください。

そして、また早急に何らかの措置を執る必要がある場合には、従前同様、速やかに観察所に連絡をしてください。

皆様には、多くの御心労と御負担をおかけいたしているところではありますが、各事情を御賢察の上、格段のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びになりましたが、「反省は、一人でもできますが、更生は一人では困難であります。」尾道地区保護司の皆様方の益々のご活躍と、ご多幸をご祈念申し上げます。

# 新任のご挨拶

広島保護観察所 尾道地区

主任官 **桂木 信行**



令和3年10月から、広島保護観察所福山駐在官事務所から広島保護観察所に内部異動となり、尾道地区を担当させていただいております保護観察官の桂木信行と申します。

平素は事件担当や、犯罪予防活動についてご尽力いただき、誠にありがとうございます。私は、保護観察官として補職してから11年目となりますが、福山駐在官事務所勤務時には、広島から福山まで新幹線通勤をしており、日々、尾道を新幹線で通過しておりましたが、この度、尾道地区の主任官となり、地域の皆様と一緒に仕事をさせていただくことを大変喜んでおります。

近年のコロナ禍の影響により、保護司の皆様方には、大変な御苦勞をおかけしていることと存じますが、対象者の生活もコロナ禍による様々な影響を受けている状況が続いております。例えば少年の場合、学校がオンライン授業になったことをきっかけに不登校になったり、新型コロナの影響で仕事が減り、親御さんの収入が減るなどして、困難を抱えているケースもございます。また、成人の場合、コロナ禍の影響により、就職が決まらなかったり、収入減で生活が苦しいといったケースも散見されます。

先日、とある会合で広島市が実施している「就職氷河期世代（35歳～50歳）等支援事業」を説明した資料をいただき、その中に「安定に向けた支援（伴走型）」とあり、その支援の特徴として、「自己効力感低下」の回復支援及び「レジリエンス」（折れそうな心の立て直し）が挙げられており、何か更生保護と通じるものを感じました。当然に就労は更生と切っても切れないものですが、対象者を励まし、つまづきから立ち直れるよう支える続ける姿勢は、就労のみならず、何事においても重要です。私自身もこの就職氷河期世代ですが、全ての対象者が改善更生できるよう保護司の皆様方と協働していきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。



# 令和3年度広島県更生保護功労者 顕彰式へ出席して

第2分会 高田 英雄

令和3年11月11日（木）広島ガーデンパレス会議場にて開催されました。今年は、新型コロナウイルス感染症のため、規模を縮小しての顕彰式になりました。県内の参列者は総数130名で、尾道からは村上俊昭尾道地区保護司会会長、永本貞子尾道地区更生保護女性会会長と私の3名で出席しました。

コロナ禍において浮き彫りにされた「生きづらさ」という課題に対し、「誰一人取り残さない社会」の実現に向けた更生保護が担うべき役割は、ますます広範囲かつ重要なものとなっていると思います。

尾道地区の受賞者は、全国保護司連盟理事長表彰の藤本幸三保護司他21名でした。

私は代表者として「広島保護観察所長表彰」を受けました。

表彰を受けて今思うことは、定年後には野菜づくり等をする事で日々を過そうと思っていたが、更生保護に協力するために尾道地区保護司会に入会することとなり、そしていままでに数人の保護観察対象者を担当させていただきましたが、指導は難しく、先輩方の指導を受けながら対応してきました。今後も、皆様のご指導を仰ぎながら、保護司活動を続けたいと思いますので宜しくお願い致します。



# 第71回“社会を明るくする運動” 作文及び標語コンテストについて

学校連携事務統括者 内海 一彦

“社会を明るくする運動”は、法務省が主唱し、犯罪や非行の防止と、罪を犯した人達の更生について理解を深め、犯罪や非行のない「明るい社会」を築こうとする全国的な運動です。

この作文・標語コンテストは、次世代を担う小・中学生に、日常の家庭生活・学校生活の中で体験したことを基に、作文や標語を作っていただくことで、この運動に理解を深めてもらうことを目的にしています。

今回のコンテストには、尾道市内の小学校から654点中学校から589点の作文と、567点の標語というたくさんの応募をいただき、その中より各学校から小学校43点・中学校35点の作文と18点の標語の推薦をいただきました。

これらの作品について、尾道地区保護司会と尾道地区更生保護女性会の選考委員で審査した結果、作文（小学生8点・中学生8点）、標語（中学生8点）を入選作品としました。また、それぞれの部門ごと2点ずつを、広島県推進委員会に推薦いたしました。

各部門の優秀作品に、尾道市長賞・尾道市教育委員会賞・尾道地区保護司会会長賞・尾道地区更生保護女性会会長賞として表彰し、そのほかの入選作品は優秀賞として表彰いたしました。

応募作品には、自らが体験したことや、そのことを通して感じたこと考えたことが、しっかりと書かれたものが多くありました。

## 作品入賞者

(小学校)

1	市長賞	重井小	6年	伊賀棒 陽生
2	教育委員会賞	日比崎小	6年	濱谷 悠悟
3	保護司会会長賞	土堂小	6年	栗原 治宜
4	更生保護女性会長賞	日比崎小	6年	福本 健人
5	入選	因島南小	6年	岡田 健太
6	入選	浦崎小	4年	川崎 蓮斗
7	入選	長江小	4年	吉田 修嗣
8	入選	日比崎小	6年	倉谷 夏寧

(中学校)

1	市長賞	高西中	2年	宮地 凛奈
2	教育委員会賞	長江中	3年	杉原 瑛凜
3	保護司会会長賞	長江中	3年	島村 由芽
4	更生保護女性会長賞	栗原中	1年	三次 ころこ
5	入選	日比崎中	3年	岡本 愛充
6	入選	高西中	3年	高取 陽菜
7	入選	久保中	2年	高垣 星那
8	入選	栗原中	1年	岩崎 陽菜

## 標語入賞者

1	市長賞	日比崎中	2年	郷坪 寧音
2	教育委員会賞	久保中	1年	石村 涼
3	保護司会会長賞	因北中	3年	大出 菜摘
4	更生保護女性会長賞	長江中	2年	平川 祐成
5	入選	久保中	1年	島津 響歌
6	入選	浦崎中	2年	藤井 陽菜
7	入選	美木中	3年	山内 伶乃果
8	入選	因北中	2年	松浦 夢姫



尚、これら入選作品は、「入選作文・標語集」としてまとめ、一人でも多くの人に読んで頂き、犯罪や非行のない明るい社会づくりに役立てていただきたいと思います。

また、入選者の「表彰式並びに作文・標語発表会」を次の通り実施いたしました。

### 尾道地区伝達表彰式・発表会

・日時：12月12日(日) 13時30分～ ・会場：向島愛あいセンター 2階大会議室 尾道市向島町5888-1

# “第71回社会を明るくする運動”の 広報宣伝活動について

地域活動部会長 杉原 正子

新型コロナ感染拡大の状況が落ち着いてきているとは言え、第6波も懸念される中、先の見えない状況です。

“社会を明るくする運動”は、毎年、7月が強調月間となっていますが、緩和や自粛要請が繰り返され、コロナの状況に翻弄し続ける日々でした。その僅かな緩和の合間で行事を行えた地区もありました。しかし、殆んどの地区では中止あるいは延期となってしまいました。

ポスターやパネルの掲示は地域活動部会が中心となり、公民館や学校、町内の掲示板等に掲示させていただきました。

街頭宣伝活動（グッズ・チラシ配布）については、10月4日の地域活動部会で、市の担当者に来ていただき、市の見解をお話ししていただきました。街頭宣伝に対して積極的なお話を伺うことはできず、部会で討議した結果、本年度は中止という結論に至りました。

しかし、広報車による広報活動は非接触型活動なので、各分会に実施をお願いしました。

7月1日には瀬戸田地区25名参加で街頭宣伝活動をすることができましたが、その他の地区では中止となりました。

今後も新型コロナ感染状況を踏まえ、感染予防対策に万全を期しながら、行事を行っていきたいと思います。

皆様方のご支援ご協力に感謝いたしますと共に、今後ともよろしくお願いたします。



第2分会 広報車による広報活動

第4分会 広報車による広報活動

## ◎広報車による広報活動

第1分会	第2分会	第3分会	第4分会
9月27日 久保地区	10月26日 向東・向島地区	未定 栗原地区	10月13日 因島南地区
9月28日 高須地区	10月27日 吉和・日比崎地区	未定 美木地区	10月19日 因島北地区
9月29日 長江地区		未定 御調地区	10月26日 瀬戸田地区

## 新任保護司の紹介（令和3年12月1日付委嘱） よろしくお願ひ致します



第3分会

かめやま ゆきひろ  
亀山 幸寛



①趣味	郷土の歴史探訪
②好きな言葉	愚直・誠実
③健康法	散歩
④保護司感	罪を犯してしまった人や非行少年の更生、社会復帰をサポートする仕事。地域社会への恩返しとして取組んでみたい。

## 退任保護司挨拶

### 笑って下さい



第2分会

三谷 誠一

私は平成元年（1989）に保護司を拝命しました。44歳の時でした。それから32年間務めさせて戴きました。年齢から言うと働き盛りの怖いもの無しのやればやるほど結果が付いて来ると言う様な年代でもあり、またそういう時代でも有りました。保護司会に入会したのは向東町彦の上の保護司で、今は亡き栗本秋夫保護司からの推薦でした。断り切れず、当時は保護司とは『何ぞや』と言う様な時代で、何も知らず分からずで入会致しました。

当時は働き盛りで仕事の合間に保護司の仕事をするという形でしたので、保護司の仕事には深入りせず、『付かず離れず』が私の気持ちでした。しかしほぼ同期で入会された企業の経営者の方は、続きませんでした。それはそうでしょう。経営者は大勢の従業員を抱えている以上なかなかボランティアで時間を割く事自体難しいでしょう。私は不良保護司でしたので続け

る事が出来たと思っております。その分、私の周りの保護司の方々に目に見えない所で大変ご迷惑をお掛けしたり、陰ながら助けて戴いたりして此処まで来る事が出来たのだと思っております。その辺りが私の不良会員たるの所以だと自分で思っている次第です。

そうこうしている内にとうとう32年という歳月が何時の間にか過ぎてしまいました。ですが決して無駄の歳月とは思って居りません。何故なら私自身も対象者と一緒に成長して来たと思っているからです。いろいろな家庭環境の中で、それぞれが違う人生を過ごして来た結果が、保護観察となってしまったのですが、我々はそれを受け入れて、一緒にひと時ほんの一瞬の交差する互いの人生を共にし、少しでも彼らが心を開いてくれる事が出来たら、私自身も相手に対して心を寄り添える事が出来たとしたら、多分それが自分自身の心の成長に繋がって居るのではないかと考えています。自分勝手な言い分かもしれませんが、自分自身が対象者に育ててもらっているのではないかと、勝手に都合の良い事を考えて現在に至っています。

何れにせよ此処まで長い間保護司を続ける事が出来たのは、我儘で自分勝手な事をして来た私を、暖かく見守って下さった尾道地区保護司会の皆様方のお陰であると深く感謝しております。大変有難う御座いました。

2021年11月吉日

# 保護司の

# 記録

第2分会

吉兼 昭子

平成24年6月に保護司に委嘱され、9年が経ちました。その間、7件の保護観察事案を担当し、殆どは短期間で終了、最長でも7箇月というものでした。ところが数年前、嗜癖的窃盗で執行猶予5年という高齢者を担当することになりました。特徴の全てが初体験という事例であり、気が重くなりました。その報告をしたいと思います。

## ■事件及び保護観察の方針

本人は、70代から夫のDV苦を理由に万引きを始め、警察の逮捕歴は5回ある。罰金刑を経て最後は懲役刑（執行猶予付き）となったが、その3年後、夫が亡くなったにも拘わらず万引きをして逮捕された。嫁いだ娘が、本人に買い物はさせず全て娘が差し入れるという条件で収容処分は免れ、再度の執行猶予となった。保護観察所も、本人の万引き防止対策として外出を控えさせるために、保護観察の方法は全て私が往訪することとした。

## ■本人との出会い

本人宅で初めて会った時、本人は不機嫌でどうなってもよいというような自暴自棄の態度であった。娘が同席したが、娘の表情も厳しく、本人への不信感や怒り、私への警戒感が感じられた。保護観察所の通知書には認知症の疑いの記載もあった。私は往訪を重ねたが、本人は期日を失念していることが多くて認知症が確定視されたし、本人が嫌々応じているのが分かるので不快な気持ちにさせられた。

## ■転機

開始から半年が経った頃、孫が結婚式を挙げるようになった。私は出席するか否かを尋ねたが、本人は「足が悪いので行かん。」と答えた。高齢者なので連れていってもらえないのか…寂しいだろうな…強がりで行かんと言っているのではないか…と思っていたところ、式が近づいた時に本人は、「孫の結婚式に行くことになった。」と少し嬉しそうであった。結婚式から帰った時、「大したことはなかった。」と語ったが、本心ではなく素直に喜びや感謝を言えないだけではないかと感じられた。

本人の歩行能力は低下し、通院も娘や息子が送迎するようになった。その道中で、彼らは本人を昼食や温泉に連れて行くことがあった。

面接の中で、悲惨な生育歴や夫のDV（幼少期に父は戦死。9歳時に母が病死。姉弟は親戚にバラバラに預けられ、親戚方では労働力として酷使され、学校も休まされたり修学旅行も行かせてもらえなかった。中卒後は就労、20歳に見合いで結婚。夫はワンマンで、自営業の労働力として本人を使い、本人の自由や交友を認めなかったため、本人に友人はいない。）が語られたが、次第に、別れた弟らとの交流や夫との楽しかった思い出も語られるようになった。

開始から2年後、本人は骨折等で2回、数ヶ月ずつ入院した。その発見や病院搬送、付き添いや見舞い等を娘や息子らがよく担った。私が面会に行くと、同室者で身内の面会が全くない人がいる中で、本人は子らが頻繁に面会に来てくれると言い、誇らしげであった。

## ■親子関係の再生と保護観察の仮解除

本人の足の動きは益々悪くなり、子らは毎日のように本人宅に顔を出し、食料の差し入れをした。本人は担当者との面接日を忘れることはなくなり、事前に飲み物を冷やしておいてもてなしてくれた。

ある時、私の前で娘と激しく口論を始めたが、途中で本人は口を噤んだ。その理由を尋ねると、本人は、「前なら頭にきて収まらず、外で憂さ晴らしをしていたが、今は子らのお陰で無事生活ができていますので、自分が引けばよいと思うようになった」と述べた。

保護観察は、本人の更生は子らの支援で可能であると判断され、開始後約4年で仮解除となった。

## ■終わりに

虐待を受けひねくれた本人であるが、子供らが見捨てずケアを続けたことで、本人の心の傷は次第に癒されていった。子供らは健全に育っていることから、本人は過去子供らに愛情を注いでいたことが窺われた。本人は万引きを重ねる不健康な面もあったが、そうでない健康な面も多く持っている。本人から亡母や亡祖母との楽しかった過去が語られることもあった。9歳までに実母等から与えられた愛情によって、本人は基本的信頼感を得ており、立ち直りの基本になったと思われた。

更生は、対象者の健康な部分を育み増やしていくことだと思っている。本事案でもその思いを強くした。



今回は、第4分会の恵本雄輝さんに、次の4項目についてお尋ねしました。

- ① あなたはどんな人ですか？
- ② ご家族は？
- ③ あなたの信条・生活訓は？
- ④ 保護司として、ご苦労なことは？

## 第4分会 恵本 雄輝

### ①あなたはどんな人ですか？

私は1952年（昭和27年）3月、瀬戸田町名荷で、専業農家の長男として生まれました。

将来農業をするのが当たり前と思っていた私は、もの心がついた小学生の頃から高校を卒業するまで、懸命に家の手伝いをしました。

高校で始めたバスケットボールクラブは家の手伝いで続けることができずでしたが、3年生の時に柔道に出会い、昼休みには自己流筋トレを行い自身の体重56kgで78kgのバーベルを上げることが出来る様になりました。1年間頑張った記念に初段をとろうと福山電波高校に出向きましたが、3回連続絞め落とされて取得することはできませんでした。しかし、審判員から来年是非挑戦してほしいと声をかけられ、1970年（昭和45年）日立造船に入社してからも柔道を続け、黒帯を取得することができました。子どもの頃の畑仕事が私の足腰を鍛えてくれたと今でも思っています。

また19歳の時、ある方の紹介で生名島日輪館 村上麟祥先生に空手を学ぶことができ、50年経った今も空手を続けています。3段取得後は、日輪館 瀬戸田を立ち上げ、子ども達の指導にあたっています。

日立造船は18才から34才までの16年間の勤務でした。その後、古川製作所に7年間勤務し、日本全国・海外に出張しました。その後、叔父の会社を手伝うも7年で倒産、その後三和ドックに4年間勤め、そして現在、自営「恵本工業」を営んでいます。

現在69歳。県外から声をかけられれば出向いて行き仕事をさせてもらっています。「仕事があるからこそ今も現役で働かせてもらうことができ、さらに子どもの空手指導もでき、体力の限界を感じつつも保護司が務まるのかな。」と思っています。



### ②ご家族は？

私は現在、90歳の母と妻と三人で暮らしています。長男は尾道市内に、長女は呉市に、次男は近所に住んでおり、孫が5人います。

妻が家庭を守ってくれているので、私は仕事も空手の指導も保護司もできると感謝しています。

### ③あなたの信条・生活訓は？

私の生活訓は、「刹那主義」です。

（今日という日を丁寧に生きていこう。過去や将来のことは思わず、ただこの瞬間を充実すれば足りる。）という考え方です。このような考え方で生きていけば、次の日がやってくるかどうか分からないけど、やってくればまた今日と同じように今日の日だけの為に生きることができると思っています。

### ④保護司として、ご苦労なことは？

私は1年間の考慮の末、2010年（平成22年）6月から保護司の任に就きました。

2013年（平成25年）に初めて対象者と面会をしました。2年の保護観察期間中にはいろいろありました。対象者が雇い主に騙されて自暴自棄になり、勤務中に逃げてしまったことがありました。出張先で連絡を受けた私は、仕事が大変忙しく、対象者が留守電を入れてくれてもすぐには連絡をしてあげられませんでした。書類の提出も大変でした。その期間中に、主任官からもう一人の対象者を半年間観てほしいと依頼を受け、面接を行いました。最終的には二人とも無事終了し安堵しました。その他環境調整を行ったこともありましたが、支える気力、経済力ともに親御さんには足りず不調に終わりました。

現在は仕事も少なくなってきたので、研修会にはできるだけ参加し、対象者の社会復帰に役立てるように勉強を積んでいきたいと思っています。

### 取材後記

11月初旬早生ミカンの収穫期に、恵本保護司さん宅を訪問しました。

庭先で奥様と笑顔で出迎えて下さり、緊張が一気に飛んでいきました。机に置かれた数冊の愛読書には、物差しで引かれた朱線やコメントが記されており、勤勉家の印象を受けました。また、55歳から始めた開脚運動を披露して下さい、諦めない姿勢に敬服いたしました。

（手島常俊・土居誠子）

# 尾道地区更生保護団体コーナー①

## 更生保護女性会だより

尾道地区更生保護女性会

会長 永本 貞子

あけましておめでとうございます。

令和3年は、コロナコロナで、10月まで何も出来ない年でしたが、広島でのお茶会に15名の案内があり、10名が車2台に分乗し参加しました。自分で運転して行けないので、運転して下さる方にご迷惑をおかけして申し訳ないと思っています。でも、ガーデンパレスロビーで素晴らしいハロウィンの飾り付けを見ることが出来ました。とても感激するとともに、目の保養になりました。

11月11日には、広島県更生保護功労者顕彰式に出席いたしました。

表彰者は10名

中国地方更生保護女性連盟会長表彰2名

中国地方更生保護委員会感謝状1名

広島保護観察所長感謝状7名

尾道の矯正展は中止となりましたが、広島矯正展は、シャケだけ買ってくださいと言われ取りに行けないので、送っていただき、お礼に45kgのミカンを送りました。ホゴちゃん・サラちゃん塗り絵作品応募は、12名の子どもさんの作品を送りました。景品として、うちわと折り紙が送られてきました。

行事は、少しずつですが、進んでおります。

11月29日に広島県の割引キャンペーンを利用して宮島で研修を行いました。秋の紅葉を楽しみながら40名が出席しました。

令和4年は、コロナから解放され、のびのびと生活できるような良い年になりますようにお詣りしてきました。

今年もよろしくお願いたします。



茶会 広島ガーデンパレスにて

## 尾道地区協力雇用主会便り

尾道地区協力雇用主会  
事務局長 福岡 輝行

令和3年度の活動報告をさせていただきます。

本年総会を5月26日に、皆様のご協力を頂き、コロナ感染症対策の元で開催しました。

そして役員会以外の主だった活動ができない状態が続いていましたが、少し収まった感じのする10月30日の土曜日に、本年度のゴルフ大会を開催しました。

このような状況の中、昨年を上回る6組24名の参加を頂き、にぎやかなゴルフ大会を開催することが出来ました。

三原地区協力雇用主会から6名、尾道地区保護司会ゴルフ同好会から7名のご協力を得て、三原地区の坂元会長、尾道地区の山本会長、尾道地区会員の(株)井上道路様より多額の賞品を提供して頂き、大勢の方に賞が行き渡り、大変喜んでいただいたことと思います。

因みに優勝が三原地区事務局長の森田章裕様、準優勝が尾道地区会員の(株)ビショウ川原組の川原由紀海様に輝いております。

協力雇用主会を取り巻く環境は依然変わっておらず、難しい運営を強いられる日々が続くと思いますが、試行錯誤しながら、これからも前に向いていかないと、役員一同思いを強くしているところです。

引き続きご指導ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。



## 尾道地区更生保護団体コーナー②

### OB会だより

尾道地区保護司OB会

会長 宇根本 忠信

昨年はパンデミックなコロナ禍の猛威のため、表立った活動は命あつての物種とばかり、自粛生活に専念した年でしたが、活動の停滞が不安定でもあり、敢えて開催したわが尾道保護司OB会の総会についてお伝えします。

日時：令和3年7月12日  
10:00～12:00  
会場：保護司サポートセンター  
2F-第2会議室



・説明その1：総会の開催は、騒然としたコロナ禍の中でのものでしたが、安心安全を旨とした「3密回避の厳守」と、会員諸先生の責任ある言行をもとに、長年培った強い絆と信頼によって背中が押された断行でした。

会員25名の内、出席者は16名（出席率64%）で会場の広さの割には密集の心配は無く、十二分に免れることが出来ました。

総会議事は粛々に行われ、議案は提案通り満場一致の承認を得ましたので、今年こそ実りある年であるようにと、決意を新たにしたところのものでした。

・説明その2：総会に続いて今回初めて「出前授業」なるものを計画し研修会を持ちました。

講師は尾道市健康推進課職員の講話：～元気で活動するために～「新型コロナウイルス並びにフレイルについて」お話があり、私達、後期高齢者には身近な課題として有益な勉強会であったとの声が多く、今後に繋げて行きたい研修として、多数の賛同を得た事は嬉しい成果でした。

・説明その3：従前は、総会終了後に懇親会を実施し、会員相互の親睦の強化を図って、会の活性に繋がれば何よりとの考えで行なっていましたが、コロナ禍の今回には、懇親会は無理であり、又、会合は出来るだけ短時間に終わる事が求められるので、恒例の親睦懇親会はもとより行い得ず、会食についても、会場での飲食はご法度として、お持ち帰り用の弁当を準備して、しずしずとお帰り頂くこととし、お開きとしました。

・結びその1：久しぶりに公の場で顔を合わせられた懐かしさが、引きこもり生活のストレス解消に与かったのではないか…！？

・結びその2：よそ目には活動がぼやけがちのOB会に精気が培われた事例となり得たのであろうか…！？

・結びその3：干支の寅年に因んで、「強く大きく成長する年でありたい」との願いをこめて本稿の筆を置くこととします。

・PS：添付写真は「まだまだ若い者には負けられない！！」気概溢れる総会時の集合写真です



# 文芸コーナー



## 詩

### 今を

OB 島田 恭次

石は無表情で冷たいと言う  
違う 頑張り屋だ

水と暮らせば 丸くなり  
根が訪ねても 拒まない

ことあれば肩を組んで守り抜き  
熱しられては 調理人となり  
凍りついても 動じない

磨かれては 輝き  
多くの人を魅了する

ついに力尽き  
砕けて姿が変わっても  
素直に その境遇を受け入れ  
命を繋いでいく

今を その境遇で  
素直に受け入れて  
たくましく行きぬく  
何のためらいもなく

今が 一番輝く時だと

## 俳句

### 初電話

OB 高卯 石男

息災の一声でよし初電話  
熱爛や言ひたきことを言へる仲  
大波も小波もまくら浮寝鳥  
なかんづく幹の貫禄鉢の梅  
出港の汽笛ののびやか山笑ふ

### 鍛冶始

OB 吉原 茂子

大縄を回す子跳ぶ子息白し  
刀匠の強き柏手息白し  
病みし子に添ひ寝する夜や遠雉子  
小夜更けて尖る風音冬に入る  
調律の単音響く寒日和



## 漢詩の香り

桃李雖艶、  
何如松蒼栢翠之堅貞。  
何ぞ松蒼栢翠の堅貞なるに如かん。

梨杏雖甘、  
何如橙黃橘緑之馨冽。  
何ぞ橙黃橘緑の馨冽なるに如かん。

信乎、  
濃夭不及淡久、  
早秀不如晚成也。  
信なるかな、  
濃夭は淡久に及ばず、  
早秀は晩成に如かざることもや。

桃やスモモの花ははなやかで美しいが、  
松や栢が四季を通じて青々とした緑を変えないのには及ばない。  
梨やアズノの実は甘くておいしいが、  
黄色いだいたいや緑のみかんの香気の芳しさには及ばない。  
してみると、まことに、  
華やかで儂いものは、あつさりして長久なものには及ばないし、  
早く熟するものは、遅く実るものには及ばないものだ。

- ◆ 松蒼栢翠…松の青、栢の緑。松と栢は常緑樹の代表。  
淡久の例えにいう。
- ◆ 橙黃橘緑…黄色いだいたいや緑のみかん。晩成の例えにいう。
- ◆ 馨冽……香気が高く芳しい。
- ◆ 濃夭……濃艶で夭逝（わか死）する。華やかではかない。
- ◆ 早秀……早咲きの花。早熟なもの。

【出典】  
菜根譚（さいこんたん）の前集二二二項。  
中国明代末期の古典。  
前集222項目、後集135項目からなる  
洪自誠（こう じせい）による随筆集。

（手島 常俊）

# 書

●書 金岡 親量



《大道無門》(だいどうむもん)  
大きな道路には門がない。転じて、ふところが大きく  
なんでも受け入れる心の大きいことのとえ

# 絵画

●画 OB 田中 功



「因島・白滝山から望む瀬戸内海」

# 陶芸

●作陶  
OB 小川 曉徳



花瓶



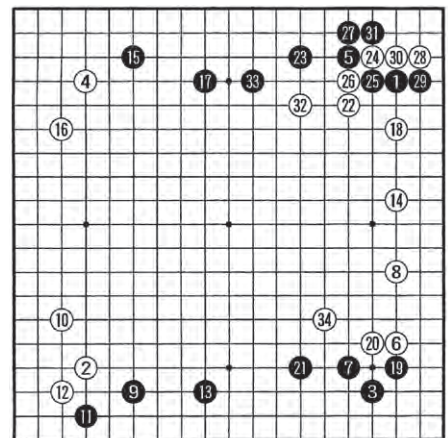
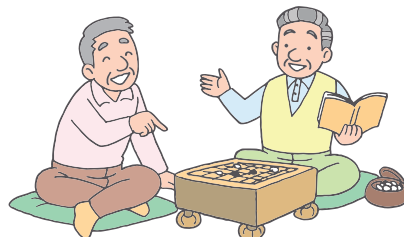
急須・湯飲み

## ●●●囲碁入門講座 第17回(尾道市の市技「囲碁」)●●●

(監修 木村修二)

今回は、棋譜を並べて石の流れをつかみましょう！  
互先の碁では、石を捨てて得する感覚が重要です。  
石を取られることを恐れない精神を鍛えましょう！  
白24のツケは、26と切って小さく捨てる作戦です。  
黒31と取られても、利き筋が多いので白が得しています。  
白34と模様を広げて右上の厚みを活用します。  
さて、黒35は？

自由に想像して  
打ってみてください。



# 事務局だより

## 1. 令和3年秋の叙勲(令和3年11月3日)

旭日小綬章 岡野 敬一 保護司 (地方自治功労)  
瑞宝単光章 木村 修二 保護司 (消防功労)  
受章おめでとうございます。

## 2. 令和3年度広島県更生保護功労者顕彰式

11月11日(木)13時より広島ガーデンパレスホテルに於いて開催されました。  
表彰おめでとうございます。

表彰名	表彰者氏名(敬称略)				
全国保護司連盟理事長	藤本幸三	幣原信忠	眞神田嘉英		
中国地方更生保護委員会委員長	上野静志	恵本雄輝	長尾良孝		
中国地方保護司連盟会長	普家俊一	高橋昭彦	内海一彦	金岡親量	福岡輝行
広島保護観察所長	尼子忠邦	佐原雅典	末通弘聡	高田英雄	野田佳裕
広島保護観察所長感謝状(内助功労)	古本富子(幸雄)		檀上恵美子(正光)		
広島保護司連合会長	宇根本直子	大出絹子	花房松雄	星野光男	

## 3. 退任保護司のお知らせ

三谷 誠一 様 令和3年11月30日付(満齢退任)  
高原 東吾 様 令和3年11月30日付(自己都合)  
長年にわたり、尾道地区の更生保護活動にご尽力賜り厚く御礼申し上げます。  
今後のご健勝とご多幸を念じております。

## 4. 新任保護司のお知らせ(令和3年12月1日委嘱)

分会	氏名	住所
3分会	亀山 幸寛	尾道市御調町

会報 第73号「女性保護司の会 発足と取り組みについて」

内容に誤りが在りました。ここにお詫びして訂正させていただきます。

誤) ④第1と第3部会(合同)・第2部会・第4部会の  
正) ④第1分会・第2と第3分会(合同)・第4分会の

## 5. 自主研修会

### 第1回自主研修会

日時: 令和4年1月11日(火) 15:00~16:30  
場所: 尾道国際ホテル  
テーマ: 未定

## 6. 合同新年互礼会について

日時: 令和4年1月11日(火) 17:00~  
場所: 尾道国際ホテル

## 7. 予算編成会議

日時: 令和4年1月26日(水) 13:30~  
場所: 更生保護サポートセンター

## 8. 理事会

日時: 令和4年2月14日(月) 13:30~  
場所: 更生保護サポートセンター

## 9. 定例研修会等の予定

### ①第3回研修会について

日時: 令和4年3月17日(木) 13:30~15:30  
場所: 市民センターむかいしま  
テーマ: 「面接(面接技法)」について

### ②現地研修(日帰り1日研修)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

## 10. 広島県更生保護協会員の募集について

本年も協賛会員・普通会员の寄付者の募集取り組みを行っています。  
何卒よろしくお願い致します。



表紙写真

撮影: 保護司 内海 一彦

因島白滝山展望台より、尾道大橋方面を撮影しました。好天に恵まれ、爽やかな朝の光にまつまれた瀬戸内海が印象的でした。

## あとがき

新型コロナウイルス感染症は、やっと終息の兆しが見えてきました。いろいろな規制が解除されて経済活動が、再開されることにより、「オミクロンの変異株」の拡大も心配です。

今回も、皆様のお蔭をもちまして、ここに新年号(74号)が発行できることになりました。

いよいよ寒さがつのりインフルエンザを心配する季節となりましたが、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

最後になりましたが、多くの皆様に貴重な投稿をいただき誠にありがとうございました。  
(村上 弘二)

# 活 動 風 景

2021年  
8~12月



9 / 13 学校区代表者会議



10 / 4 第1回研修会



10 / 19 第4回理事会



10 / 22 広報部会



11 / 11 第17回保護司会親睦ゴルフコンペ



11 / 18 第2回研修会



11 / 29 第2回総務部会



12 / 7 第5回理事会



12 / 12 社明作文表彰式